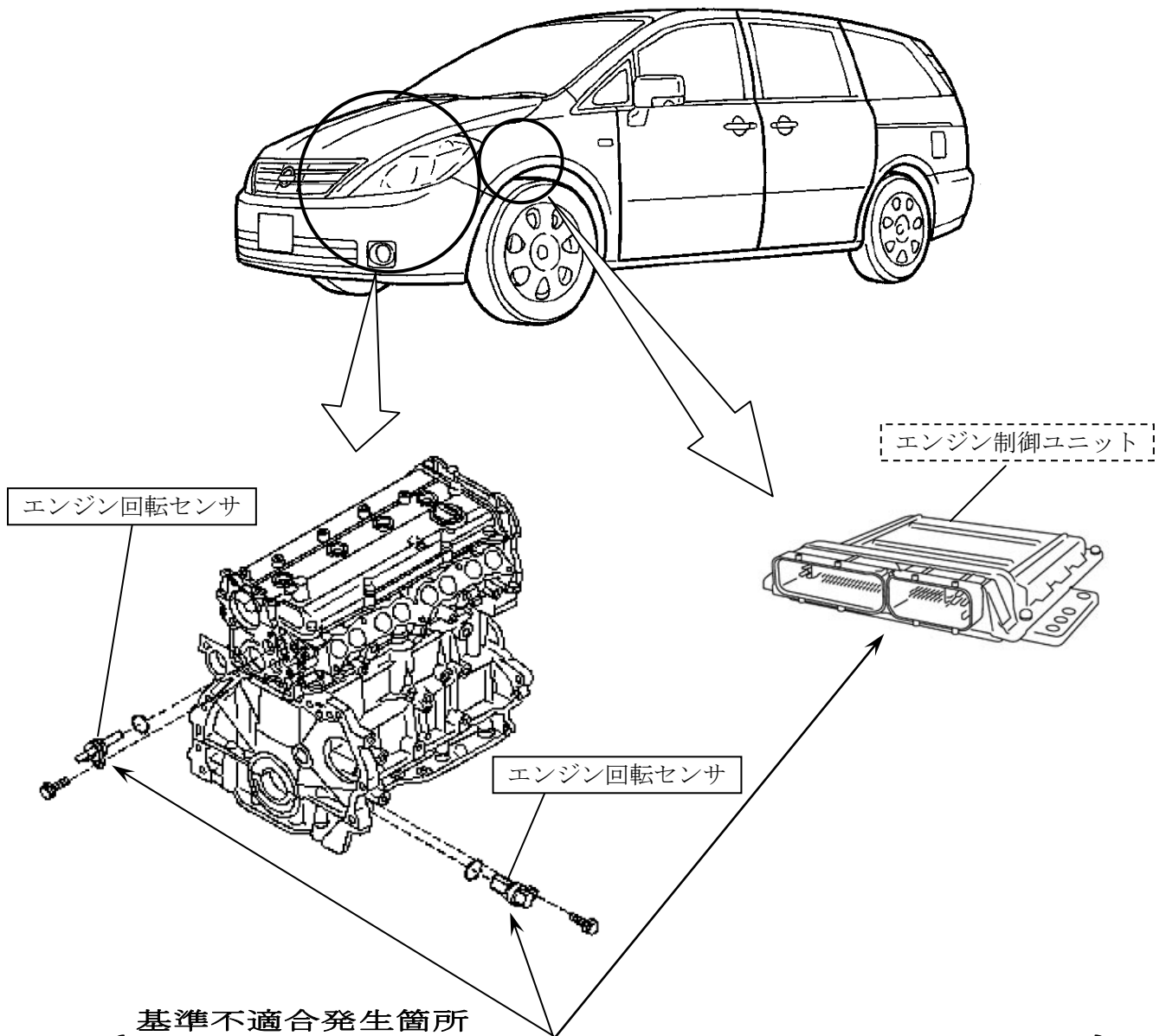


改善箇所説明図



原動機において、エンジン回転センサの耐熱性が不足しているため、高負荷条件下での熱負荷の繰り返しにより当該センサが断線することがある。断線した場合は、フェールセーフにより、エンストしないように制御するが、走行条件によっては、制御が間に合わずにエンストして、再始動に時間がかかることがある。

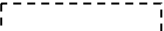
改善の内容

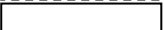
全車両、当該エンジン制御プログラムを対策仕様書き換えることで、当該センサの断線時でもエンストが発生しないように対策する。

エンストは防げるものの、当該センサが断線して警告灯が点灯する可能性があるため、後日対策品の準備が整いしだい順次、当該センサを対策品と交換する。

識別：プログラム書き換え後に、銀色のシールをモデルナンバープレートの右横に貼り付ける。

更に、センサーを交換したものは、銀色のシールを追加で（2枚目）貼り付ける。

注：  は、プログラムを書き換える部品を示す。

 は、交換部品を示す。